

令和5年竹田市教育委員会第3回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年3月6日（月）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員
教育長 志賀 哲哉
1 番委員 甲高 幸一
2 番委員 佐藤 恵
3 番委員 吉野 聖子
4 番委員（教育長職務代理者） 賀籠六尚樹
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 野仲 芳尊
学校教育課長 渡邊 早苗
生涯学習課長 工藤 直樹
まちづくり文化財課長 古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長 松田 好恵
歴史文化館長 佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課課長補佐 羽田野京子
- 6 議事日程
(1) 会議録の承認 第2回定例会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
議題第21号 竹田市教育委員会公印規則の一部改正について
議題第22号 竹田市小中学校文書取扱規程の一部改正について
議題第23号 竹田市スクールバス運行管理規程の一部改正について
議題第24号 竹田市立小中学校通学区設定に関する規則の一部改正について
議題第25号 竹田市学校運営協議会規則の一部改正について
議題第26号 竹田市立学校職員ハラスメント防止要綱の制定について
議題第27号 竹田市制服購入助成金交付要綱の制定について
議題第28号 教育財産の用途廃止について
議題第29号 県費負担教職員の人事異動の内申について
(4) 報告事項
(5) 審査事項
(6) 協議事項
(7) 連絡事項
(1) 3月幼・小・中行事予定表
(2) 3月教育委員会関係日程（予定）
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員会からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時00分]

- 野仲教育総務課長 委員の出席状況でございます。教育長及び委員4名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 それでは、ただいまから第3回定例会を開会します。
第2回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 では署名をお願いします。

(署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 野仲教育総務課長 前回の教育委員会第2回定例会以降の報告をいたします。
2月7日、部落差別問題研修。8日、障がいサービス事業所利用者交流会、及び納池公園名勝地調査委員会。12日、久住中学校閉校記念式典。13日、岡の里名水マラソン大会第3回実行委員会。14日、第12回校長・所長会議、及び竹田教育研究会全体会。15日、第2回地域協働活動推進委員会会議、及び久住高原農業高校の第3回学校運営協議会。19日、都野中学校閉校記念式典。20日、第6回中学校制服のあり方検討委員会。21日、声楽コンクール第3回諮問委員会、及び城原小学校統合にかかる第2回城原地区説明会。22日、サフラン3年生を送る会、及び第2回学校給食運営審議会。23日、大分県都市対抗駅伝競走大会。24日、豊肥地区解放文化祭第3回実行委員会。27日、定例課長会議。28日、第13回校長・所長会議、及び全国中学ビブリオバトル決勝大会出場報告。3月2日、議会第1回定例会本会議。3日、中学校卒業式。5日、第34回岡の里名水マラソン大会。そして本日6日、教育委員会第3回定例会。以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等ありませんか。
それでは、次に移ります。本日の審議事項は追加議題を含めて9件。議題第21号竹田市教育委員会公印規則の一部改正についてです。それでは、教育総務課長、説明願います。
- 野仲教育総務課長 議題第21号の提案理由をご説明いたします。この案は、久住中学校・都野中学校両校の閉校に伴って、中学校公印の数量が減少するため、第2条の別表に表示している中学校関係の公印の個数「6」という数値を「4」に改めるものがあります。
- 志賀教育長 ただいまの説明に質疑等ありませんか。
ないようでしたら、議題第21号を承認してよろしいですか。
- 委員 (「はい。」の声)

志賀教育長	承認されました。 次に議題第 22 号竹田市小中学校文書取扱規程の一部改正についてです。教育総務課長、説明をお願いします。
野仲教育総務課長	議題第 22 号であります。この案も、今回の久住中・都野中の閉校に伴う改正です。小中学校文書取扱規程の第 9 条関係の別表から、閉校となる両校の記述を削除するものであります。
志賀教育長	ただいまの説明、質疑等ありませんか。 ないようでしたら、議題第 22 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 23 号、竹田市スクールバス運行管理規程の一部改正についてです。教育総務課長、お願いします。
野仲教育総務課長	議題第 23 号です。この案は、閉校となる久住中・都野中が令和 5 年 4 月 1 日から竹田中学校へ統合されることに伴い、第 2 条関係の別表で、スクールバス運行学校である竹田中学校へ通学する生徒在住区域の範囲に、「久住地域の全地域」という記述を追加するものであります。以上であります。
志賀教育長	ただいまの説明に、質疑等ありませんか。甲高委員。
甲高委員	書き方について一応確認させてください。「ア」と「イ」の宮城地区、城原地区というのは小学校校区の書き方になってるんですが、「ウ」の久住地域の全地域ということで、例えば、久住地域の全地区、都野地域の全地区とか、そういう統一性を持たせたほうがいいのかとか、3 地区の全地区とかいうような統一性を持たせたらどうなのかと思ったのですがいかがでしょう。
志賀教育長	教育総務課長。
野仲教育総務課長	旧竹田市と旧直入郡 3 町が合併して今の竹田市になっておりますが、それぞれの旧市町については地域としております。この議題の例で言いますと、宮城地区・城原地区というのは竹田地域の中の校区として地区と呼んでいます。今回の学校統合は、旧久住町全域となりますので、久住地域という呼び方で表記しております。
志賀教育長	甲高委員よろしいでしょうか。他にありませんか。 ないようでしたら、議題第 23 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に議題第 24 号竹田市立小中学校通学設定に関する規則の一部改正についてです。学校教育課長、説明をお願いします。

渡邊学校教育課長	議題第 24 号です。この案は、令和 5 年 4 月 1 日の竹田市立竹田中学校と、久住中学校と都野中学校の統合に伴い、別表第 2 の改正を行うものであります。あわせて別表第 1 の文言整理と、所要の改正を行うものであります。以上です。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等ありませんか。 よろしいでしょうか。 それでは議題第 24 号、承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。 次に、議題第 25 号竹田市学校運営協議会規則の一部改正についてです。学校教育課長、説明をお願いします。
渡邊学校教育課長	「25」でよろしいでしょうか。
志賀教育長	10 ページの表記が第 26 号となっていますが、25 号に訂正をお願いします。次の 11 ページが 27 号となっていますが、26 号に変えて、以下、その議題に行くときに確認をしたいと思います。 では改めて、議題第 25 号、学校教育課長説明をお願いします。
渡邊学校教育課長	議題第 25 号です。竹田市学校運営協議会規則の一部改正についてです。竹田市学校運営協議会規則を次のように改正したいと考えます。第 4 条第 1 項の 10 人、運営委員の人数を、15 人以内に改めるということでございます。提案理由としましては、統合に伴って、委員の人数を増やし、保護者及び地域住民の学校運営への参画の促進や適切な支援を得ながら連携協力することにより、学校と保護者、地域住民等の信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組めるよう、規則の改正を行うものであります。よろしくをお願いします。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等ありませんか。甲高委員。
甲高委員	この規則については何もありません。教育委員会の要望なんです、委員の参加を認めてほしいと思います。統合して初めての学校運営協議会ということで、私たちが聞いてみたいと思いますので、すみませんけど、委員の方の参加をお願いしたいと思います。オブザーバーでもいいので、参考として聞いてみたいと思いますので、よろしくをお願いします。要望事項です。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。要望としてきいておきます。ありがとうございます。
志賀教育長	それでは、要望が出されましたが、学校運営協議会にオブザーバーでもいいので、参加して聞いてみたいということです。
甲高委員	はい。

志賀教育長	他にありませんか。 ないようですので、議題第 25 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。続いて、11 ページになります。議題第 26 号、竹田市学校職員ハラスメント防止要綱の制定についてです。学校教育課長説明をお願いします。
渡邊学校教育課長	はい。議題第 26 号です。竹田市立学校職員ハラスメント防止要綱の制定についてでございます。提案の理由は、竹田市立学校職員の利益の保護及び職員の能率の発揮のため、すべての職員が個人としての尊厳を尊重され、誰もがともに働きやすい職場環境を確立することを目的として、ハラスメントの防止及び排除のための措置並びに、ハラスメントに起因する問題が生じた場合に適切に対応するための措置に関し、必要な事項を定めるところでございます。お願いいたします。
志賀教育長	ただいまの説明についてはありませんか。 ないでしょうか。 明確にしておかなければならない問題が非常に多く出て参りましたので。 ないようですので、議題第 26 号、承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	はい。承認されました。次に、議題第 27 号、竹田市制服購入助成金交付要綱の制定についてです。学校教育課長、説明をお願いします。
渡邊学校教育課長	はい。議題第 27 号、竹田市制服購入助成金交付要綱の制定についてです。この度、新しい制服のあり方を検討委員会で検討して参りました。そして、導入にあたっては、子供の健やかな成長に資するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図ることを目的として、学校指定の制服等を購入するために必要な経費に対し、助成金を交付することについて、必要な事項を定めるといふものであります。以上です。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等ありませんか。甲高委員。
甲高委員	はい。助成金についても規則についても、全然問題ないんですけど、基本的なことを聞かせていただきたいと思うんですが、全部の金額、合計金額というのは基本的に、幾らになるんでしょうか。何パーセント助成という形でしょうか。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。これまでの制服は 6 校ですべて値段が違っておりました。高いところでは 7 万円近くしていたかと思えます。それが 3 万 3000 円でオールシーズン使用可能なものになりました。税込み 3 万 3000 円と聞いております。助成額については、1 万 8000 円を限度として、1 人、1 回につき助成するものであります。ち

	なみに、要保護家庭、準要保護家庭については、制服は全額、就学援助費等で補助しています。
志賀教育長	よろしいでしょうか。他にないでしょうか。吉野委員。
吉野委員	助成金の額については「1万8000円を限度とし」ということは段階を設けるといいますか。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。これは所得によって段階を設けるといようなものではございません。「1万8000円を限度とし」というのは、今後もし仮に値上がりをしていったとしても、今のところ提案としては1万8000円とさせていただきます。
志賀教育長	よろしいでしょうか。他にありませんか。 ないようでしたら、議題第27号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第28号、教育財産の用途廃止についてです。生涯学習課長説明をお願いします。
工藤生涯学習課長	議案第28号、教育財産の用途廃止について。1番目のところに、用途廃止をする行政財産の表示をしております。竹田市中央公民館、竹田分館体育館の用地ということで、竹田市大字竹田2725番地3、面積は1,072平方メートルでございます。この土地につきましては、旧竹田小学校の学校用地として使用されていましたが、平成7年10月1日に用途変更し、竹田分館の体育館として使用されています。土地の一部に公衆用道路、市道が横断していることから、令和4年12月22日に分筆登記を行いました。公衆用道路は市道愛宕谷線、市道近戸線として認定されていることから、用途廃止して、建設課へ移管するものでございます。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等ありませんか。 ないようですので、議題第28号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、追加議題の議題第29号ですが、本議題は、県負担教職員の人事異動に関することですので、非公開の審議としたいと思いますがそれでよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは、竹田市教育委員会会議規則第15条第1項の規定により、非公開とします。なお、進行の都合上、すべての協議が終了してから審議を行いますので

よろしく申し上げます。

次に移ります。報告事項、協議事項はありません。連絡事項について教育総務課長、説明申し上げます。

野仲教育総務課長

はい。連絡事項（１）、３月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の２ページをご覧ください。３月１日、白丹小１・２・３年生によるバターづくり。２日、南部小・城原小・久住小・南部幼稚園のお別れ遠足、荻小の６年生を送る会、及び久住中のお別れ給食。３日、中学校卒業式、祖峰小・直入小のお別れ遠足、菅生小の６年生を送る会、都野小１・２年生の南山荘訪問、及び竹田幼稚園の岡藩雛祭り流しびな体験。７日、県立高校１次入試、及び都野小のお別れ遠足。８日、県立高校１次入試、及び南部幼稚園のお別れ会。１０日、県立高校１次合格発表、及び都野小・直入小の避難訓練。１５日、竹田幼稚園のお別れ会。１６日、県立高校２次入試、及び竹田小の卒業の集い。１７日、県立高校２次合格発表、及び幼稚園卒園式。１８日、長野県中野市で開かれます中山晋平記念音楽祭表彰式。白丹小１年生が受賞することとなっております。１９日、竹田中３年生が出場しますビブリオバトル全国大会。２２日、小学校卒業式、及び都野中のバス遠足。２４日、小中学校修了式。２７日、都野中のお別れの会。３０日、先生方の離任式。

続いて、次のページ、３ページをご覧ください。３月の教育委員会関係日程（予定）表でございます。本日、３月６日、教育委員会第３回定例会。８日・９日の両日、議会本会議の一般質問。１３日、議会本会議・予算特別委員会、第７回制服のあり方検討委員会、及び第３回久住中学校統合検討委員会。１４日、議会予算特別委員会。１６日、第３回竹田市社会教育委員会、及び第３回都野中学校統合検討委員会。１７日、幼稚園卒園式、臨時校長・所長会議、及び議会社会文教常任委員会。２２日、小学校卒業式。２３日、議会本会議最終日、及び教育委員会第１回臨時会。２４日、定例課長会議。３０日、県費負担教職員退職者辞令交付式。３１日、市職員の退職者辞令交付式。

１ページに戻っていただきまして、（３）の今後の主な予定でございます。①第１回臨時会を３月２３日（木）１５時から、教育長室にて予定しております。②第４回定例会は、４月５日（水）１５時から、本庁議室にて開催予定です。③第５回定例会は、５月９日（火）１５時から、同じく本庁議室にて開催予定です。

なお、①の臨時会ですが、３月２３日ということで前回の定例会でもお知らせをし、ただいまもご提案しましたけれども、前日２２日が小学校卒業式で、委員の皆様もそれぞれご出席の予定で連日の公務となります。会議の所要時間も、議題が教育委員会の人事に関わる案件のみで、短時間になるものと思われまので、この会議でご協議をいただいて調整が可能であれば、小学校卒業式終了後に本庁舎に移動いただいて、会議を開会できればと考えているところでございます。卒業式も各学校で所要時間にずれがあるかとも思いますが、ご検討をよろしく願いいたします。

連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

はい質疑等ありませんか。１ページの①。教育委員会第１回臨時会の日程変更の件ですが、ご意見あったらお伝えください。佐藤委員。

佐藤委員

はい。私は２２日の卒業式後にお願いをできたらと思います。

委員	(「賛成。」の声)
志賀教育長	はい、皆さん賛成の声がありましたので、それでは22日。小学校卒業式終了後、集合いただいて、臨時会ということでもよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
野仲教育総務課長	教育長、ちょっとよろしいですか。
志賀教育長	はい。教育総務課長。
野仲教育総務課長	ただいま、第1回臨時会の開催期日が3月22日に変更となりましたので、先ほど、3月の教育委員会関係日程予定表の説明の中で、臨時会の期日を3月23日としておりましたので、同じく3月22日に記述の変更をよろしくお願ひいたします。以上であります。
志賀教育長	はい。それでは、3ページの日程についても変更をお願いします。その他連絡事項について、ないでしょうか。 では、各課からお願いしたいと思います。まず教育総務課長。
野仲教育総務課長	教育総務課から、2月21日に城原で開催しました統合にかかる2回目の地区説明会について報告いたします。当日は、約20名のご参加がありました。ご発言の要旨としては、「学力が低いことが統合提案の原因となるのか」「統合は財政的な要因ではないか」「統合目標年度設定の根拠は何か」「なぜ対等合併でなく編入なのか」「学校選択制がなぜできないのか」「提案は白紙撤回して検討をし直せないか」との意見や、「地域を分断する議論の場ではなく、子ども達の将来を考えるものにしてほしい」などのご要望をいただいたところであります。それから、3月23日に行いましたスクールバス試乗会の件も併せてご報告いたします。久住中関係、都野中関係の、実際の送迎運行ルートを、事前申し込みのあった子ども達や保護者に、乗車体験をしていただきました。久住コースでは、賀籠六委員にもご参加をいただいております。ありがとうございました。また、久住中の植木PTA会長も白丹コースに乗車をいただいて、子ども達の生の声など聴いてくださっております。当日は、合わせて24名の皆さんに実体験をしていただいたところであります。生徒や保護者については、それぞれの乗降場所の確認と、行き帰り道中の実際の感覚をつかんでいただいたものと思います。4月からの本格運行に向けて、問題点などを改めて精査して、安心安全な運行管理ができるように準備を進めてまいります。教育総務課からは以上です。
志賀教育長	次に渡辺学校教育課長。
渡辺学校教育課長	はい。よろしくお願ひします。学校教育課の方からは、まず先日3月3日の卒業式にご参加いただき、ごあいさついただきまして大変ありがとうございます。中学校3年間をずっとマスクをつけて過ごした子どもたちであります。堂々と胸を張って卒業していった様子を聞いております。また、NHKのニュースでは、久住中学校の3年生の教室でのお別れの様子も見る事ができました。

久住中、都野中の最後の卒業式となりましたが、子どもたちが自己実現できるよう、今後も頑張っていってくれることと思いますし、応援していきたいと思っております。

2点目は、令和5年度の竹田市学校教育ビジョンについて、皆様の机の上に配布しております。2月14日の校長所長会議で提案したものでございます。黄色囲みの部分が、新たに付け加えた事項でございます。「主体的に学び、未来を創造する子どもの育成」を目指して、「将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら、多様な他者と協力し、自分の考えを形成していくとともに、主体的に学び続ける子供を育成する」とし、すべての小中学校に通知しております。これをもとに、各学校で、学校の教育目標を達成すべく取り組んでいくところでございます。特に、ICTの活用も推進してまいります。同時に学校図書館活用にも力を入れているところです。また、子育て支援の充実についても、学校教育課でできることはしっかりと進めたいと考えているところです。

3点目です。第6回の制服のあり方検討委員会の報告をさせていただきます。児童生徒及び保護者のアンケート結果をもとに協議し、デザインが決定をいたしました。Dの案に決定したところでございますが、3月13日の第7回の検討委員会において、リボンやネクタイのデザインの決定等をして、最終報告を保護者に今年度中に通知したいと思っております。第7回までかけて、丁寧にやっていき、保護者にしっかりと助成制度やリユース制度を含めてお伝えできればと思っております。学校教育課からは以上です。

志賀教育長

工藤生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

先週の金曜日に行いました、放課後子供教室のコーディネーター会議に出席いただきました吉野委員、ありがとうございます。昨日の第34回岡の里名水マラソン大会、無事終了いたしました。甲高委員、陸協でのご加勢ありがとうございます。以上です。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

はい。お疲れ様です。特段ございません。

志賀教育長

佐藤歴史文化課長。

佐藤歴史文化館長

歴史文化館です。2点、連絡させていただきます。チラシを机の上に配付させていただきました。1点目は、企画展「子ども学芸員展示 竹田の先哲たち」についてです。3月8日（水）から3月21日（火）まで、竹田市歴史文化館市民ギャラリーで開催します。竹田市教育委員会は、大分県立先哲史料館とともに、小学生が「学芸員」になって、身近な地域の先哲や歴史、文化について展示や発表を行う事業に取り組んでいます。今年度は、竹田市立南部小学校6年生が「子ども学芸員」として「竹田の先哲たち」について調査し展示等に挑戦しました。フィールドワークに出て史跡や歴史文化館等で調査し、展示史料の説明文を書き、実際に史料に触れて展示する等、「学芸員」としてさまざまな体験を積みましました。子どもたちの取組の成果を、展示を通してゆっくりとご覧いただければと思っております。

2点目は、企画展 藤沢さだみ作品展「おかしなどうぶつ」についてです。3月25日（土）から5月14日（日）まで、企画展 藤沢さだみ作品展「おかしなどうぶつ」を、特別展示室・ちくでん館及び市民ギャラリーにおいて開催します。チラシをご覧いただくと、クスッと笑ってしまうような状況に置かれていながら、生真面目な表情でこちらを見つめる動物たちの不思議な存在感。ポップコーンの毛をまとった羊、体の模様がバーコードになったシマウマ、ケーキの帽子をかぶった白くまなど。対象をリアルに捉えながらも、見るものを異次元に誘うような独特の視点で表現するイラストレーター・藤沢さだみさんの世界です。本展では、底抜けに明るくて、かわいくて、でもどこかおかしな動物たちをご覧いただければと思っております。よろしく願いいたします。

志賀教育長

松田給食調理場長。

松田給食調理場長

先程、3月の行事予定の中でお別れ給食が久住中学校でもあったのですが、これに関連しましてお知らせをします。中学3年生は、卒業式の前日をもって9年間もしくは幼稚園から食べている子は10年間続いてきた給食が終わるということで、卒業生の皆さんから調理場あてにお礼のお手紙を頂いています。9年間の給食にまつわる思い出や感想、栄養士さんや調理員・配送員さんへの労いや感謝の気持ちがしみじみと伝わってくる内容や、クスッと笑えるユーモアたっぷりの内容もあつたりして楽しく拝見しました。このように、感謝の気持ちを伝えることが当たり前のできる竹田市の子どもたち、また、そのように導いてくださった先生方に、調理場職員一同感激していますし、仕事の励みにもなっています。いただいたお手紙については、それぞれの調理場内に掲示しますので、機会があれば委員の皆様方にもご一読いただけると幸いです。以上です。

志賀教育長

その他、図書館等、野仲教育総務課長ありますか。

野仲教育総務課長

図書館からは特にございません。

志賀教育長

それでは、ただいまの説明に、ご意見質問等ありませんか。
ではないようですので、最後に教育委員からご意見、感想等があれば願います。甲高委員から願います。

甲高委員

はい。先ほどの生涯学習課長からも申し上げましたが、竹田名水マラソンに参加させていただきました。まず生涯学習課も教育委員会の皆さん、職員の皆さん本当お疲れ様でした。私も朝8時半から16時半ぐらいまでいたんですが、それを吹き飛ばすようなことがありまして、課員がメッセージを手づくりしてそれを、ゼリーに貼る作業を私もさせていただいたんですが、フィニッシュしたランナーから、それを読んで、また来年も来れるかなとか、いろいろ言っていたんですけど、すごく喜んで、皆さんメッセージを見てたのがすごく印象的でした。疲れを吹き飛ばすようなことを言っていたりもしましたので、お疲れ様ですとか、皆さんに言っていただきましたので、男性の方からも。あと、卒業式についてなんですが、竹田南部中学校の卒業式に参加させていただきました。先ほど課長からお話ありましたが、5月入学でコロナの影響を受けたということです。修学旅行の話が出たんですが、多分、普通通常だったら京都とかそちらの方に行かれると思いますが、大分県内に行って、普通行けない

ところ、多分行かないであろうところに行けたのは、逆によかったというような意見というか、発表を3年生が言っていたのがすごく印象的でした。これをいい経験をしたというようなことをお話しされておりました。それが非常に良かったし、非常に落ち着いていて、いい卒業式だったなあという印象でした。すいません。ちょっとですね最後に一つ、議題第28号のことでちょっと私お聞きしたいことが、生涯学習課の方からあったんですが、これは建設課に移管するっていうか申し込みとか、今後体育館とかの申し込みとかは、例年通り変わらないんですかね。体育館使用の申し込みとか、そういうのは関係ないのでしょうか。

工藤生涯学習課

全然関係ありません。たまたまそこを測量した際に、全部公民館の土地だということで管理してたんですが、その中に市道が通っていたということで。普通考えたら行政財産ということで、公民館の敷地と市道の敷地というのは分けて分筆して登記すべきことなんですが、それが平成7年、小学校から公民館に来た時に、きちっとその移管ができてなくて、全部一緒になっていたものですから、それをきちっと行政財産の処理を行うということで、今回市道は、市道として管理するという形になりますので、体育館の使用等については一切関係ありません。

志賀教育長

議題第28号についてはよろしいでしょうか。

甲高委員

はい。大丈夫です。

志賀教育長

では続きまして佐藤委員、お願いします。

佐藤委員

私は報告になります。2月17日に荻の教育を考える会に参加してきました。今年度最後ということで、地域の方からは、月に1回授業参観を行うのは今後も続けていきたいということと、特に運営委員をしているからとかではなく、決まりなく地域の方が、学校に見学に行ったり誰でも参加ができるようにしたいなっていうお話がでたのと、小学校中学校の保護者からは、子供の学力を親が保護者が把握することが、大切だになっていうことをこの1年で感じましたっていう感想がありました。学力テストの結果を見て、やはり学力的にすごく厳しいっていう意見が地域の方から出て、この学力を上げるために何か地域でできることはないかっていうことで、かなりの議論が地域の方からもたくさんの意見が出て、ボランティアでもいいので、学校の体制さえ整えば、声をかけていただければとにかく地域の方が出向きますっていう力強い声や意見が出ていたので、何とか地域の人を、利用という言い方は悪いんですが一緒に、学校と地域の人と一緒に、何か子供たちの学力を上げるために何かいい方法が、来年度は見つかればいいなと思いました。

あと3月2日に第4回竹田市総合計画審議会に参加をしてきました。パブリックコメントに寄せられた意見や審議委員や事務局からの提案などをもとに修正が行われて、第二次竹田市総合計画が完成しました。この会議、私にはとても難しい会議だったんですが、この会議に参加をすることで、竹田市、今住んでいる竹田市民がどういうふうになれば、暮らしやすいのか。どういうふう将来になっていけば、そこに人が集まってくるんだろうとか、子供たちがどうやれば、暮らしやすくなるんだろうとかそういうことを、考えられる貴重な時間をいた

だけたなと思っています。少しでもこれからもお役に立てるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。以上です。

志賀教育長

では吉野委員お願いします。

吉野委員

はい。2月10日に直入の教育を考える会に出席してきました。授業の様子は、前回同じ会で、授業参観した時に比べてとても落ち着いていて、生き生きとした反応が見られて、参加した方皆さん安心された様子でとてもよかったです。意見交換等も盛んにあったんですけど、そこで現役の保護者の方から、お話を聞いたんですけど、その時期に、来年度からの部活動についての文書が配付されたということで、新年度からは、球技・剣道と陸上を両方することはなくてどちらか片方をすると、同じ時間に終わるようになるという話を聞いたんですけども、それを受け取った子供たちの中には、やっぱり一、二年生で、今まで両方球技、剣道と陸上の両方を同じぐらいの熱量で頑張ってきた、まだ続けたいっていう気持ちを持っている子供たちが、どちらか一つを選ぶことになるのか、何か悩みというか、辛さというかそういう話を聞いたので、実際、もうその新年度すぐに、どちらか一つを本当に100か0かで選ばないといけないのか、それとも柔軟な対応ができる期間を設けられるのか、その辺が少しお聞きしたいなと思います。可能な限り柔軟な対応で生徒の要望にそういう形態をとっていただければとは思っております。

もう一つは朝日新聞の記事と議会の初日の放送でお聞きしたんですが、支援学校に在籍する児童と地域の小学校の児童との交流についてということなんですけど、今後目指すことはこれからお聞きできればと思うんですが、現状私は何も知らなかったもので、これまでの支援学校に在籍する児童と、地域の小学校の児童との交流っていうのはどれぐらいの頻度でどういう内容でされてたのかなっていうのをお聞きしたいと思います。教えてください。以上です。

志賀教育長

最後にまとめてお答えしたいと思います。では賀籠六委員お願いします。

賀籠六委員

自分が2月23日のスクールバス試乗会に行ってきた、ちょっと思ったことですが、乗降場所についてはですね、非常によかったと思うんですけど、ただ下校時、帰りのバスがどうしても登校時に車線に対して、全部左側に広いところがあるので、そちらで待機して乗るっていう形はいいと思うんですけど、下校時はどうしても、反対車線になるので、そちらにバスが乗り入れた時に、ドアが開くのが車線側になるので、ちょっとそこら辺を注意して、降ろすようにしないと、車が来たところに降りていって中学生とか結構荷物が多いので、ちょっとよろめいたりした時に、その車線側に出ないとも限らないので、そこら辺の検討が必要かなと思ったのと、仮に左車線で下ろした時に、横断歩道がないところで降ろすとそのまま車道横断していったりするっていう危険もあるので、もし左側で降ろすなら横断歩道があるところの近くで降ろすとか、そこら辺の検討もしていただかないと、ちょっと危ないかなっていうふうに感じました。以上です。

志賀教育長

はい。それでは質問としては、部活動の検討、支援学校との交流の件。あと、スクールバスの件について。関係の課から説明をお願いします。学校教育課長。

渡邊学校教育課長

私の方から3点お答えします。まず荻の教育を考える会、直入の教育を考える会等ですね、学校運営協議会への参加大変ありがとうございます。学校運営協議会は学校の課題解決に向けて、学校だけでなく、地域や保護者が一緒に考え行動してくださるといふ会でございます。まさにそれを実現して下さってるなあと、本当に感謝申し上げます。特に、荻の教育を考える会については、学力を上げるため、地域でできることはないかと考え、行動を起こそうとして下さってるそのお力を借りながら、来年度実施していけたらと思います。この会議の中でも出されました「小学校4年生になって初めて学力テストを受けて、こんなに悪かったのか」と、気が付かれた保護者の方の声を、2度ほど、この会議の中で受けております。それに対しまして、12月の年度末の学力調査、学び残しはないか確認するテストをこれまで4,5,6年生で実施しておりましたが、来年度からは、1,2,3年生についても国語と算数でその確認ができる予算を今計上しております。当初予算で上げておりますのでそこも実現していければと思っております。

2点目の部活動についてです。県内においても、竹田市だけが2部制を実施しておりました。働き方改革が進んでも、なかなかここは、現状のままということで、部活動、球技、剣道、吹奏楽が終わって、そして希望者が陸上活動をやっておりましたが、その段階的な移行ということで、来年度の入学生からは、2部制を募集しない、走りたい子供さんについては、それぞれの学校でしっかり対応していけるように今情報共有をしているところでございます。ですから、現1年生については、最後の大会まで本人たちが希望する限りは、2部制を続けていって、段階的な移行を目指しているところであります。ご理解いただければと思います。

それから、支援学校との交流についてです。朝日新聞は、小学校にも在籍と書いておりましたが、そこはですね、二つの籍がある、二重の籍があるということは違法でございますので、決してそういう意味ではなく、支援学校の子供さんがいつでも、小学校に交流に行った時に、自分の地域の学校に、その教室にも席があって、机があって椅子があって、そして、自由に一緒に学んだり遊んだり、交流と今、共同学習というふうに言っておりますが、そこができて、そして卒業アルバムも一緒に撮ることが出来ますよと、そういうような関係づくりをしていきたいというものでございます。コロナ禍でこの3年間は交流ができておりませんでした。先日、支援学校の校長とも、ぜひ来年度は積極的に進めていきたいと確認しております。しかし、これも支援学校を選んだ児童生徒や保護者のニーズに応じてということでございますので、希望があれば、その体制をしっかり継続していけるような、そのための支援だったり、スクールバスやタクシーでの移送等の、その予算を計上している次第でございます。以上です。

志賀教育長

教育総務課長。

野仲教育総務課長

賀籠六委員からスクールバスの、特に下校時における降車についての質疑であります。乗降場所として乗り入れできるスペースがある箇所はいいんですが、車道の場合には、基本的に左側からの降車になると思われ。この案件は、今後、運行委託先のタクシー協会、運転手の方とも協議していきたいと考えております。何よりも、子ども達の安全確保が最優先でありますので、生徒の乗降場所が確定した後、乗降の仕方に関する指導・教育の徹底と併せて、この原

則に沿って検討し、良い方法を探っていきたいと思います。

志賀教育長

今、説明ありましたが、関連して或いはその他ないでしょうか。生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

甲高委員からお褒めの言葉をいただいた関係ですが、それにつきましては本当に陸協の皆様方のご協力がなければ、できなかったということでした。今皆さんにお伝えをしたいんですけど、出走した選手の方には、ゴール直後に、オーエスワンという無償でいただいている大塚製薬のドリンク、それともう一つ、ゼリーですね、飲むタイプの。そのゼリーの裏にうちの職員が「また来てね」とか「お疲れさま」とか手づくりのカッティングをしたシールを貼ろうと切っていたんです。ただうちの職員もそれを貼る手間までは行き着かなかったので、それを当日に、陸協の皆さんで、もう本当にバタバタのお願いだったかと思うんですけど、後ろに貼りつけていただいて、それを今回、その2点セットで。配るのも、陸協の皆さんがゴール到着したらご苦労さまでしたって心を込めて、2本ずつ、選手にお渡ししていただきました。貼り付け作業、差し上げていたこと、本当に陸協の皆さん、ありがとうございました。

志賀教育長

その他ないでしょうか。

ではないようですので、議題第29号県費負担教職員の人事異動の内申についての審議を非公開に行います。

関係者以外の退出をお願いします。

[閉会時刻:午後4時10分]